

東京湾海況情報 12 - 6

平成 12 年 6 月 8 日
 千葉県水産試験場 富津分場
 〒293-0042 富津市小久保 3091
 0439-65-3071

東京湾水質観測結果 (平成 12 年 6 月分: 内湾のみ)

第二ふさみ丸が捜索活動のため内房海域調査が遅れています。後日結果をお知らせします。

資料: 水質観測 (6/5 東京内湾: わかふさ)
 一都三県漁海況速報, 東京湾口海況図, 相模湾・伊豆諸島近海海況速報

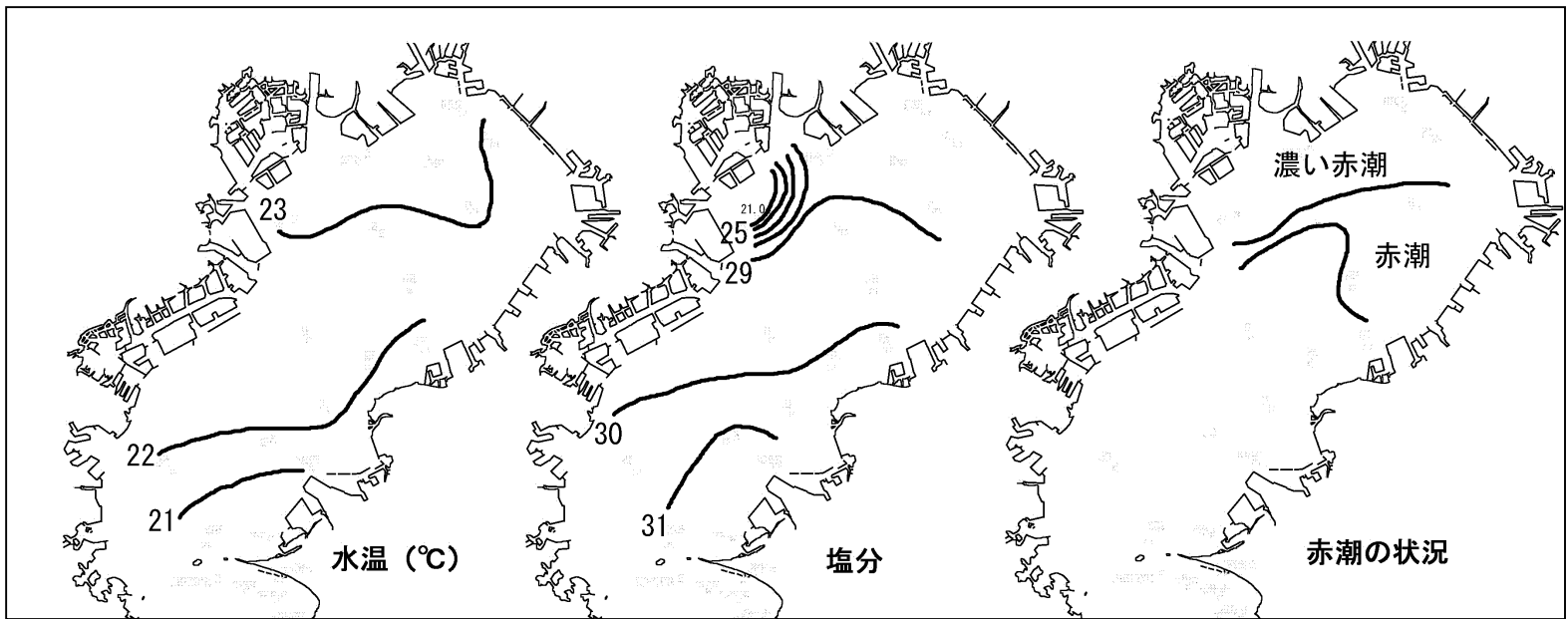


図 1 表層の水温, 塩分, 赤潮の状況と底層の D O

水温・塩分の状況 (図 1, 2, 表 1)

表層の水温は 20 ~ 23 でした。塩分は湾奥西部で 25 以下の低塩分がみられます。

内湾縦断面の鉛直分布をみると水温 16 ~ 23 台, 塩分 28 ~ 33 です。

赤潮の状況 (図 1, 3, 表 1)

湾奥部で赤潮が発生しています。とくに浦安周辺が濃厚です。主なプランクトンは渦鞭毛藻類のプロロセントルム (*Prorocentrum* sp.) とギロディニウム (*Gyrodinium* sp.) でした。

湾中央部 (木更津, 富津周辺も含む) はの主なプランクトンは珪藻類のスケルトネマ (*Skeletonema* sp.) と渦鞭毛藻類のセラチウム (*Ceraatium fusus*) でした。

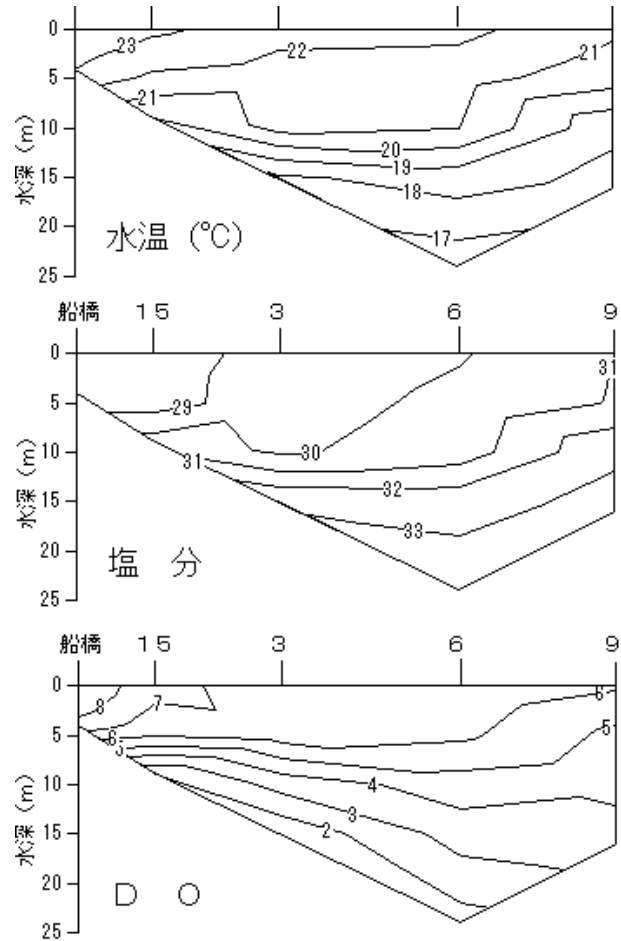


図 2 内湾の鉛直分布

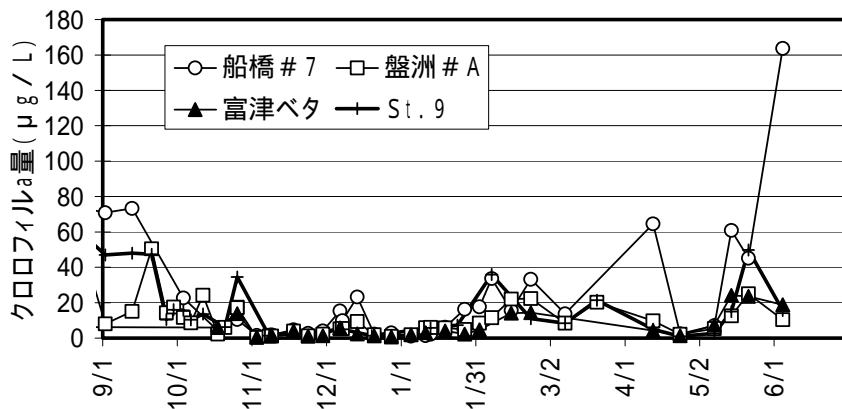


図 3 クロロフィル a 量の変化

植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量は湾奥部で100~300 $\mu\text{g/L}$ 、中央部で10~20 $\mu\text{g/L}$ でした。
またディノフィシス (*Dinophysis sp.*) が木更津、富津周辺で見られました。

低酸素水塊の状況 (図2, 4)

内湾で低酸素水塊が形成されています。底層分布で見ると内湾中央部を中心に溶存酸素量(DO)が1ml/L台の海域が広がっています。

縦断面の鉛直分布ではst.15, 3, 6付近の底層で1ml/L台でした。

水試では2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を低酸素水としています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。

表層の栄養塩類 (表1)

溶存無機態窒素(DIN)は100~200 $\mu\text{g/L}$ 台、リン酸態リンは4~16 $\mu\text{g/L}$ と低めです。全体で低めです。

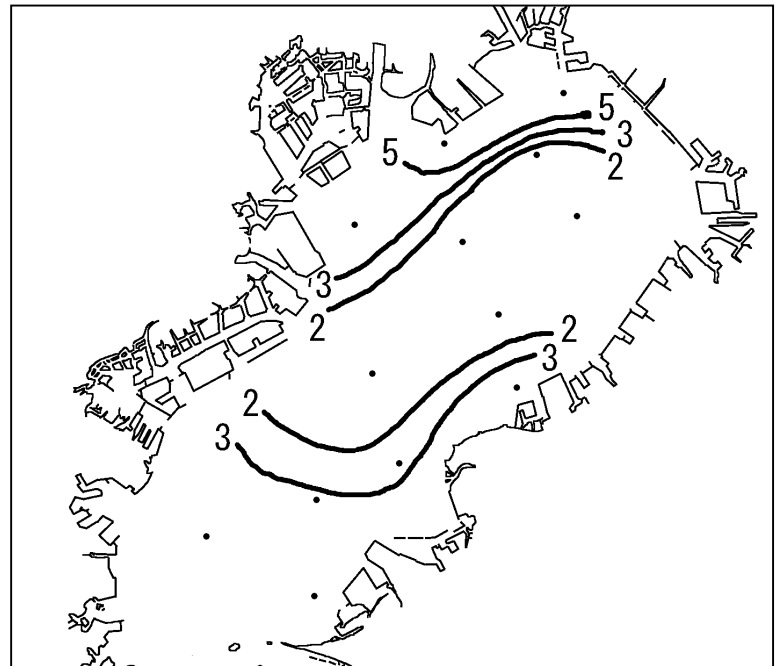


図4 底層のDO分布(ml/L)

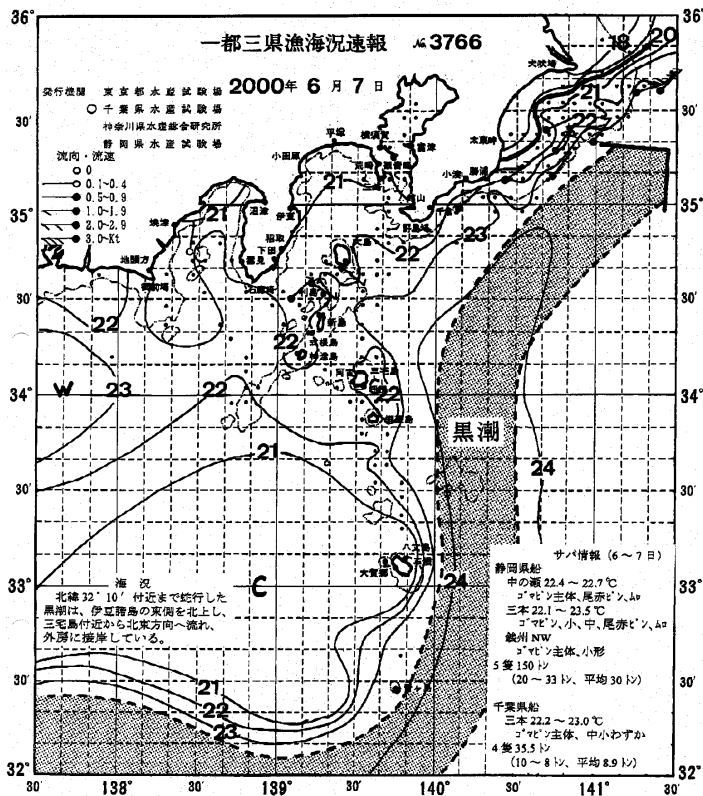


図5 黒潮の動き

黒潮の動き (図5)

6月7日の一都三県漁海況速報によると、黒潮は房総半島付近で接岸しています。

先週後半に大島西側から相模湾・相模湾に向かう強い流れが発生し、内房海域で影響がみられているようです。今後の動きに注意してください。

観測日記

- ・湾奥の赤潮は本当に濃かったです。
- ・船橋の調査点でミズクラゲが大量に集まっていました。

表1. 水質調査結果(表層)

調査日: 6月5日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	溶存無機態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	リン酸態リン ($\mu\text{g/L}$)	クロロフィルa量 ($\mu\text{g/L}$)
内湾海域	船橋	1.0 (21.3)	23.5 (27.27)	28.14 (8.3)	*8.7 (563)	101 (89)	163.7
	St. 15	1.0 (21.7)	23.2 (28.18)	28.52 (8.6)	*8.7 (343)	139 (22)	103.2
	st. 3	2.0 (21.1)	22.4 (28.75)	29.39 (8.6)	8.7 (312)	215 (18)	19.4
	St. 6	2.5 (21.0)	22.3 (29.23)	29.92 (8.6)	8.6 (281)	161 (15)	26.8
	St. 9	3.5 (20.6)	21.2 (30.23)	31.00 (8.5)	8.6 (248)	165 (11)	15.6
	盤州Cブイ	2.4 (21.0)	21.9 (29.49)	30.58 (8.5)	8.6 (209)	162 (20)	23.7
	St. 8 (盤州Aブイ)	2.8 (20.8)	22.4 (30.74)	30.60 (8.5)	8.4 (216)	157 (17)	10.4
	富津ベタ	2.7	20.4	31.94	8.5	155	7

(): 過去10年間の平均値, pHの*は8.7以上